

環境基本計画における数値目標(指標)の実績調査表

環境目標1 自然環境の保全及び創造

環境目標2 生活環境の保全及び創造

環境目標3 地球環境の保全

環境目標4 循環型社会の構築

環境目標5 環境教育及び環境保全実践行動の推進

市民生活部 生活環境課

(1)自然環境の保全及び創造(環境目標1)

指標	イノシシ捕獲数 (生態系や農作物等の被害防止のため、イノシシを捕獲します。)									単位	担当			
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	頭	農林水産課		
1		894	692	619	977	944	1,714	1,047	965	1,237	H27(目標)	H32(目標)	823	856
		<p>(平成30年度における取組内容) イノシシ捕獲推進のため、猟友会上天草支部に対し、市単独予算で一頭当たり8,000円の捕獲業務委託料を支払っている。また、国の鳥獣被害防止総合対策事業交付金の申請を行い、交付決定の範囲内で交付金を交付し、併せてイノシシ捕獲用箱罟を19基購入し猟友会へ貸し付けを行っている。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 平成30年度の実績値は、H32(目標)を達成している。これはイノシシの生息域及び生息頭数が増加しているため罟等に掛かる個体が増えたものと考えられる。 今後の課題としては、猟友会会員の高齢化による捕獲者の減少によるイノシシ生息域のさらなる拡大及びそれに伴う被害拡大が考えられるため、今後も狩猟免許取得補助金を継続実施していくとともに、地域ぐるみによる農作物被害等の防止のための取り組みを支援し、被害防止対策の周知を図っていく。</p>												

指標	松くい虫被害材積 (森林及び景観の保全のため、市木である松への被害を防止します。)									単位	担当			
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	m ³	農林水産課		
2		1,270	2,037	793	1,064	861	792	660	334	872	H27(目標)	H32(目標)	747	700
		<p>(平成30年度における取組内容) ・森林病虫害等防除事業(伐倒駆除2種)により、被害木の伐倒・薬剤散布(16.54ha、88.5m³)の実施。 ・森林環境保全整備事業(衛生伐)により、被害木の伐倒・薬剤散布(58.60ha、429.6m³)の実施。 ・森林病虫害等防除事業(地上散布)による松くい虫防除のための薬剤散布(51.3ha、353.7m³※)の実施 ※伐倒駆除2種及び衛生伐の実績から面積(ha)あたりの被害木体積を算出。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・平成30年度は夏の高温・少雨の影響により松くい虫の被害量が増大し、事後対策としての伐倒駆除2種及び衛生伐の材積量も増大している。 被害木の減少に向け、地上散布の区域拡大の実施及び樹幹注入への移行の検討を実施し、予防保全対策の強化を図る。</p>												

指標	稚魚(マダイ、ヒラメ、ガザミ、車海老)放流数 (漁獲量の確保などによる水産資源の維持のため、稚魚を放流します。)									単位	担当			
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	千尾	農林水産課		
3		1,015	970	957	681	732	733	728	724	753	H27(目標)	H32(目標)	1,050	1,100
		<p>(平成30年度における取組内容) 放流効果を高めるため、放流サイズを大きくして、マダイ、ヒラメ、ガザミ、車海老計753千尾の稚魚放流を実施した。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 放流後の生存率向上のため、放流個体のサイズを大きくしたことで、基準値(H22)よりも尾数が減少しているが、引き続き同サイズで放流し、漁獲量の向上を図りたい。また、水産研究センター、里海づくり協会及び漁協等の協力を得て、放流箇所等の検討や市場調査(混入率)の情報を共有し、より効果的な放流サイズ、放流方法、魚種等を検討していく。</p>												

指標	「自然と触れ合う機会」が多い人の割合 ※市民アンケート調査									単位	担当			
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	%	生活環境課		
4		41.6	51.2	48.8	46.1	53.2	48	47.3	44.9	50.9	H27(目標)	H32(目標)	45	50
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 地域の歴史・文化・自然などを生かした体験型観光の取組を推進する。 郷土の自然や文化にふれ学ぶ機会づくり</p>												

指標	学校給食での地元食材使用品目数 (地産地消の推進を図るため、学校給食での地元食材の使用品目を増やします。)										単位	担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)	品	農林水産課
5		70	65	65	63	68	82	76	75	76	65	68		
		<p>(平成30年度における取組内容) 地場農林水産物の利用促進のため、学校給食における地場産品材料費2分の1額に対し補助金を支出(市費による)。また、学校栄養教諭等へ地場農林水産物やその生産者の情報提供を行うとともに、農事組合法人エコロジックファーマー(松島町)の協力により、地場産米の通年での納入が継続されている。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 近年、野菜の地場産利用率が低下傾向であることから、地元納入業者や営農組織、農業者等に協力を仰ぎながら、地元食材の供給量増加を図るとともに、生産者と学校のマッチングを併せて行う。</p>												

指標	森林(民有林)間伐面積 (健全な森林の育成を図るため、間伐を実施します。)										単位	担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)	ha	農林水産課
6		41.1	62.6	54.7	51.8	39.0	61.0	32.5	23.1	33.7	62	70		
		<p>(平成30年度における取組内容) 天草地域森林組合で補助事業(森林環境保全整備直接支援事業と間伐等森林整備促進対策事業)活用により26.8haの間伐を実施。 また、今年度から5カ年計画で市有林の間伐を実施。平成30年度においては、6.84haの間伐を実施。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 従来は、森林環境保全整備直接支援事業のみを活用して間伐を行ってきたところであるが、平成27年度からは、間伐等森林整備促進対策事業を加え間伐を実施している。引き続き国・県の支援策を積極的に活用し間伐を中心とした森林整備を推進していく。</p>												

(2)生活環境の保全及び創造(環境目標2)

指標	「空気のきれいさ」の満足度 ※市民アンケート調査										単位	担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)	%	生活環境課
1		71	79.9	83.3	71.2	78.8	76.9	78.6	81.1	78.4	75	80		
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 公害に係る苦情について関係機関と協議しながら迅速かつ適切な処理関係に努める。</p>												

指標	「いやなにおい(悪臭)のなさ」の満足度 ※市民アンケート調査										単位	担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)	%	生活環境課
2		59.9	67.3	75.3	73.1	71.8	70.9	70.1	71.6	71.7	65	70		
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 住民からの環境関係の苦情の中では、悪臭(野焼き等)の苦情が多く関係機関と協力しながら迅速な対応に努めている。</p>												

指標	浄化槽普及率 (生活排水の適正な浄化の拡大を図るため、浄化槽の普及率を高めます。)	単位								担当		
		%								都市整備課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		22.8	24.7	25.7	27.0	28.5	30.1	31.5	33.6	35.2	27	35
3		<p>(平成30年度における取組内容) 合併処理浄化槽設置に係る補助制度について拡充(単独処理浄化槽及び汲取り便所から合併処理浄化槽へ転換する設置者に対し補助額の上乗せ)し、広報及びホームページ掲載、設置事業所に対しての周知を行い、合併処理浄化槽の普及促進を図った。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 核家族化が進み、高齢者の一人暮らしが増加する中、単独処理浄化槽等からの合併処理浄化槽への転換する者が減少しつつある。引き続き、浄化槽設置整備事業による助成制度の周知を図り、合併処理浄化槽の普及に努める。</p>										

指標	水洗化率 (公共下水道、浄化槽、コミュニティプラントを利用する水洗化率を高めます。)	単位								担当		
		%								都市整備課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		37.3	41	44.4	45.6	46.6	48.3	49.6	51.7	53.5	48.7	57
4		<p>(平成30年度における取組内容) 施設の適正な維持管理を行い、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、利用者の利便性・信頼性の向上を図ることで、汚水処理への関心を高め、合併処理浄化槽設置に係る補助、下水道受益者分担金前納報奨金等により負担を軽減させることで、水洗化率の向上を図った。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 人口減少や少子高齢化等の地域社会構造の変化、財政状況悪化及び既存施設老朽化による改築費用増加等の現状を踏まえ、「上天草市汚水処理施設整備構想」に基づき整備を実施し、水洗化率の向上を図る。</p>										

指標	「水のきれいさ(海・川・海岸)」の満足度 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		34.3	37.9	46.4	47.2	43.4	46.2	47.6	51.7	44.3	40	45
5		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象：無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 大矢野川において、年3回の水質調査による状況把握と乳酸菌培養液による水質改善実証実験の実施。 海岸漂着ごみの撤去等については、県補助を活用し取り組んでいる。</p>										

指標	公共用水域(河川)の水質(BOD)※環境基準の達成率 (環境基準達成に向けて、河川における水質を維持します。)	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
6		<p>(平成30年度における取組内容) 熊本県：水質調査報告書(公共用水域及び地下水)による状況の把握 ※観測地点：教良木川(倉江橋) 平成30年度水質調査結果公表は、10月以降。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 市内の水質保全を図るためにも、引続き合併浄化槽の普及促進に努めていくとともに、生活排水対策や水質浄化に関する取組みの啓発を行う。</p>										

指標	公共用水域(海域)の水質(COD) ※環境基準の達成率 (環境基準達成に向けて、海域における水質を維持します。)	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
7		100	75	100	50	100	100	100	100	100	100	100
	(平成30年度における取組内容) 熊本県:水質調査報告書(公共用水域及び地下水)による状況の把握 ※測定地方:三角港地先、合津港地先 平成30年度水質調査結果公表は、10月以降。											
	(目標達成に向けた課題及び対応方針) 生活排水対策を進めるとともに、海域環境への負荷が少ない取り組みの啓発を行う。											

指標	「まちなみの美しさ」の満足度 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
8		43.1	52.8	54.9	63.7	55.7	54.3	53.6	56.0	61.2	48	55
	(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人											
	(目標達成に向けた課題及び対応方針) 一斉清掃等各地区に依頼し、地域の美化活動を積極的に支援(ごみの回収等) 今後も市内の環境美化に努める。											

指標	指定文化財件数 (重要な文化財の適正な保全及び継承のため、指定文化財の件数を増やします。)	単位								担当		
		件								社会教育課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
9		39	39	40	40	40	40	40	40	40	39	45
	(平成30年度における取組内容) 周知の文化財の現地調査と資料収集、それに基づく台帳への記録と定期的な現状観察、市民や文化財保護委員からの情報提供を受けての周知の文化財の現地調査及び関連資料の収集等の活動を実施した。また、指定文化財の定期的な現状確認を行った。											
	(目標達成に向けた課題及び対応方針) 未指定の周知の文化財について、更なる調査・研究に取り組むことで文化財の価値を精査し、市の指定に向けて検討する必要がある。熊本地震で被災した古墳の復旧に向けて、復旧計画の策定と予算確保等に取り組む必要がある。											

(3)地球環境の保全(環境目標3)

指標	「地球温暖化に対する関心度・取組み」への満足度 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
1		20.0	26.6	24.3	27.2	27.8	28.2	22.4	27.4	25.8	25	30
	(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人											
	(目標達成に向けた課題及び対応方針) 市民・事業所及び市の各主体が、それぞれの役割に応じた地球温暖化対策を推進する。											

指標	「生活の便利さよりも環境の保全や省エネルギーを優先したい」と考える人の割合 ※市民アンケート調査	単位									担当	
		%									生活環境課	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
2		64.1	61.2	64.7	59.7	56.4	52	55.3	50.9	53.3	70	75
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象：無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 上天草市住宅用省エネルギー設備費補助金の周知するとともに、引続き環境保全や省エネルギーの意識啓発に努める。</p>										

指標	市の事務・事業に伴う温室効果ガス排出量 (市が率先して、温室効果ガス排出量を削減します。)	単位									担当	
		kg									生活環境課	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
3		4,238,983	4,160,005	5,086,789	5,393,771	4,914,759	4,217,212	4,132,613	4,116,994	3,761,817	4,069,424	3,857,475
		<p>(平成30年度における取組内容) 省エネルギーの徹底(冷暖房の適切な運用・夏期28℃、冬期20℃設定)照明のこまめな消灯や勤務時間外の一斉消灯時間の設定等</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 第3次地球温暖化対策実行計画(事務事業編)の取組内容の推進を図るため、掲示板などにより職員の意識啓発に努める。</p>										

指標	市庁舎電気使用量 (電気使用量を減らし、電気からの二酸化炭素排出を抑制します。)	単位									担当	
		kwh									監理課	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
4		913,395	890,681	880,143	797,511	745,471	707,728	795,075	825,788	764,640	826,179	800,479
		<p>(平成30年度における取組内容) ・30分毎のデマンド量の上限を設定し、使用の抑制に取り組んでいる。 ・一斉消灯時間を設定し、勤務時間外の電気使用量の抑制に取り組んでいる。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) ・平成30年度と同様の取組を継続する。 ・職員に対し、電気使用量の抑制に係る啓発を行う。</p>										

(4)循環型社会の構築(環境目標4)

指標	レジ袋辞退率 (マイバッグを利用し、レジ袋を辞退する人の割合を高めます。)	単位									担当	
		%									生活環境課	
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
1		76.2	69	70.4	77.9	80.7	80.7	80.1			80	80
		<p>(平成30年度における取組内容) レジ袋削減(マイバック)推進キャンペーン(11月実施)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 既に目標値を達成しており、マイバックの利用が浸透している。 辞退率をさらに高めていくため今後も広報等で情報の提供を行っていく。</p>										

指標	生ごみなどを堆肥化し、肥料などにしている人の割合 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
2	<p>35.2 37.9 39.4 34.1 39.4 32.8 30.2 30 30.1</p>	35.2	37.9	39.4	34.1	39.4	32.8	30.2	30.0	30.1	42	50
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象：無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 自宅でのごみ減量化に努めるために、生ごみ処理機・堆肥化容器購入費の一部補助とその周知を図っていく。(広報等掲載)</p>										

指標	ごみ出しのマナーやごみの分別の状況への満足度 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
3	<p>52.1 64.1 65.1 69.1 65.9 65.1 65.9 62.6 64.2</p>	52.1	64.1	65.1	69.1	65.9	65.1	65.9	62.6	64.2	58	65
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象：無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 月に1回の資源ごみの分別日に、区から依頼があった場合は分別指導を行う。ごみ収集日及びごみの分別について、周知を図る。</p>										

指標	レジ袋削減推進協定参加店舗数 (レジ袋の無料配布中止等に取り組む参加店舗を増やします。)	単位								担当		
		件								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
4	<p>100 125 125 120 113 120 119 107 99</p>	100	125	125	120	113	120	119	107	99	120	140
		<p>(平成30年度における取組内容) 広報活動 レジ袋削減(マイバック)推進キャンペーン(11月実施)</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 事業所のレジ袋無料配布等の取組み参加に向けた働きかけを再度行うとともに、参加店舗の見直しを行う。</p>										

指標	1人1日当たりのごみ排出量 (家庭での生ごみの堆肥化や事業所での適切な分別などにより、排出される一般廃棄物を抑制します。)	単位								担当		
		g								生活環境課		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
5	<p>747 757 761 776 786 791 802 799 804</p>	747	757	761	776	786	791	802	799	804	690	654
		<p>(平成30年度における取組内容) 生ごみ処理機購入費補助金事業の実施 レジ袋削減(マイバック)推進キャンペーン</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 家庭から出るごみの減量化及び資源化に向けて、ごみ分別について周知を図っていく。</p>										

指標	リサイクル率 (家庭や事業所における適切な分別により、焼却ごみを減らし、資源化します。)	単位								担当		
		%								生活環境課		
6		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		11.8	11.3	10.8	10.4	10.2	10.2	10.4	9.6	10.0	15	20
<p>(平成30年度における取組内容) 学校給食生ごみ堆肥化 紙類の(資源物)拠点回収場所の設置 生ごみ処理機購入費補助金事業の実施 出前講座の実施</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 出前講座等を多く開催し、ごみの分別についてより一層の理解と周知を図っていく。</p>												

指標	廃棄物の不法投棄の状況への満足度 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
7		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		12.8	19.2	16.9	16	18.3	15.7	12.3	17.3	21	25	40
<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 巡回パトロール・看板の設置不法投棄予防対策を行う。 保健所、警察とも連携し取締強化を行う。 広報・市ホームページで周知</p>												

(5)環境教育及び環境保全実践行動の推進(環境目標5)

指標	環境問題に関心のある人の割合 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		%								生活環境課		
1		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		82.5	89.3	89.2	88.7	88.6	83.6	87.2	86.2	88.5	85	90
<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 各種イベントや環境情報、環境基本計画や施策に関する広報を行い、関心を高めていく。</p>												

指標	子どもエコクラブ参加団体数 (こどもの段階から環境問題に関心を持ち、自主的な環境保全活動を行う参加団体数を増やします。)	単位								担当		
		団体								生活環境課		
2		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
		1	0	0	0	1	2	2	2	0	5	10
<p>(平成30年度における取組内容) 保育園や学校等への事業周知と募集</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 保育園の統廃合等による参加団体の減に対し、子どもエコクラブの制度周知や登録を広く促すことで、環境に関心を持つ人を増やし子どもたちの未来を創る力を育てる。</p>												

指標	環境「出前講座」の開催回数 (環境問題に関する知識やノウハウを身につける機会を増やします。)	単位								担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
3		6	7	7	3	5	3	2	4	16	6	12
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成30年度は16団体から申請があり、延べ466人が参加した。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 市民の環境配慮意識向上のため、出前講座の利用を広報等で周知。</p>										

指標	アダプトプログラム登録団体数 (環境美化意識の向上やボランティア活動の活性化を図るため、市と協働する登録団体を増やします。)	単位								担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
4		3	3	5	6	7	8	8	8	8	9	16
		<p>(平成30年度における取組内容) 登録団体への活動に対する支援(清掃用具の貸与、ボランティア活動保険への加入など)を行った。 また、市広報紙において、新規登録団体の紹介をするとともに、事業に関する上天草市ボランティア連絡協議会へ事業の紹介を行った。</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 1団体辞退があったものの、新規登録で1団体が増えた。市広報紙やボランティア連絡協議会などでの広報したことにより相談件数も増えてきている。今後も市ボランティア連絡協議会や社会福祉協議会など関係団体を通じ、登録団体の増加に向けて事業の紹介を行っていく。</p>										

指標	環境に関する講演会や自然観察会などに参加している人の割合 ※市民アンケート調査	単位								担当		
		H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H27(目標)	H32(目標)
5		26.0	28.3	27.4	25.0	34.6	25.2	21.2	24.6	23.2	30	35
		<p>(平成30年度における取組内容) 平成31年2月にアンケート調査を実施。対象:無作為抽出による16歳以上の男女1,000人</p> <p>(目標達成に向けた課題及び対応方針) 各種イベントの市HPやLINE等SNSを活用した情報発信。県や他自治体等のイベント等も周知を行う。</p>										